

体育 社会の変化とスポーツ

17 スポーツと国際理解 (1)

学習内容

世界中には、さまざまなスポーツが存在します。

文化としてのスポーツの意義を知るとともに、国際スポーツと民族スポーツが、国際理解に果たす役割を理解します。

学習のポイント

国際スポーツについて

国際スポーツとは、多くの国や地域でおこなわれ、国や地域をこえた人々が、お互いに競技をすることができる共通のルール、いわゆる国際ルールをもったスポーツが国際スポーツです。オリンピック競技大会や国際競技大会があげられます。

その代表といわれるのが、国際オリンピック委員会 (IOC) が主催する、オリンピック競技大会です。1896年にフランスのクーベルタンによって、フェアプレイの精神に基づいて、平和でよりよい世界をつくるために、古代オリンピックにならって再興され、4年に一度開催されています。世界中の国や地域の人々が、一堂に会し、さまざまな種目にわかれ、種目ごとの共通ルールのもと競技をする。まさに国際スポーツの祭典です。国際スポーツの大切な役割として、言葉、宗教、政治など、文化の違いをこえて世界の人々が仲良く交わり、国際理解・国際交流にも役立つといえます。

民族スポーツについて

では、民族スポーツとは何なのでしょう？

聞きなれない言葉ですが、特定の国や地域の民族にかぎって行われるスポーツで、その土地の人々の伝統的な生活文化のなかから生まれたスポーツです。国際スポーツとの違いは、国際ルールを持っているか、ローカルルールにとどまっているか、ということもできます。

ラジオ講座では、オランダのフィーエルヤッペン競技と、イギリスのスコットランド地方で行われているケイバー競技を例に紹介します。

民族スポーツを知ることで、その国の文化や習慣を理解することができます。紹介する2つの競技は、オリンピック種目でも、ワールドカップのような国際大会でもありませんが、競技やその背景を通して「オランダはそういう国なんだ」「イギリスのスコットランドではこういうことが古くから行われていたんだ」など、スポーツを通してその国の文化やその人たちの習慣を知るなど、さまざまな角度から国際交流ができることにつながっていくのも、民族スポーツを理解していくうえで大切な要素です。

※日本の民族スポーツ

わが国の民族スポーツはどうでしょう。

日本の民族スポーツとしては、やはり柔道、剣道、相撲、弓道、といった、いわゆる武道というものが思い当たるといえます。今でこそ、柔道は国際スポーツとして位置づけられていますが、かつては日本の民族スポーツという考え方でした。1964年の東京オリンピックで正式競技となり、この大会を契機に国際スポーツとして大きく変わっていきました。